

氏名	河野吉泰
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5284号
学位授与の日付	平成28年 3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Does <i>Helicobacter pylori</i> Exacerbate Gastric Mucosal Injury in Users of Nonsteroidal Anti-Inflammatory Drugs? A Multicenter, Retrospective, Case-Control Study (ヘリコバクターピロリ菌感染症はNSAIDs内服者における胃粘膜傷害を増悪させるか？ 多施設共同後ろ向き症例対象研究)
論文審査委員	教授 松下 治 教授 難波 祐三郎 准教授 白川 靖博

学位論文内容の要旨

非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs) 起因性胃粘膜傷害に関して、*Helicobacter pylori* (*H.pylori*) 感染が与える影響についての報告はさまざまであり controversial である。今回我々は 2010 年 1 月から 2013 年 12 月の期間で、当院および津山中央病院において 3 カ月以上 NSAIDs (低用量アスピリン含む) を定日内服されており、上部消化管内視鏡検査を施行され *H.pylori* 感染診断が行われた 245 例について後ろ向きに検討を行った。粘膜傷害は Modified Lanza score (MLS) を用い、4 点以上を重度粘膜傷害と定義した。重度粘膜傷害に関連する因子を単変量および多変量ロジスティック解析を用いて抽出した。*H.pylori* 陽性者 (n=108) は *H.pylori* 陰性者 (n=137) に比較して有意に MLS の平均値が高く (2.3 vs. 1.7, P=0.037)、重度粘膜傷害の割合も高かった (41% vs. 26%, P=0.031)。全症例における重度粘膜傷害に関与する因子として、年齢と性別で調整した多変量解析では *H.pylori* 陽性 (オッズ比 1.8、95%信頼区間 1.0-3.3) と PPI 併用 (オッズ比 0.53、95%信頼区間 0.28-0.99) が有意な関連因子であった。*H.pylori* 感染症は NSAIDs 長期内服者における重度粘膜傷害を相乗的に増悪させると考えられた。

論文審査結果の要旨

Helicobacter pylori pylori 感染が非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs) による胃粘膜傷害に与える影響について種々の報告があるが controversial である。

本研究では、3 カ月以上 NSAIDs を定日内服し上部消化管内視鏡検査と本菌の感染診断が行われた 245 例について後ろ向きに検討した。本菌陽性者 (n=108) は陰性者 (n=137) に比し有意に粘膜傷害が強く、重度粘膜傷害の割合も高かった。年齢と性別で調整した多変量解析により全症例における重度粘膜傷害に関与する因子を検討したところ、本菌の感染と PPI 併用が有意に関連していた。*H.pylori* 感染症は、NSAIDs 長期内服者における重度粘膜傷害を相乗的に増悪させると考えられる。

発表後、本研究の中核的 new findings が診療ガイドライン等にもたらす影響についての質問があり、本研究から適切な回答があった。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。